

第3学期終業式

こんばんは。少し暖かくなっただと思えば急に寒くなる、春の季節の特徴である「三寒四温」を感じるようになりました。朝晩の寒暖差に体調を崩さないように注意しなければなりません。

さて、3月1日、4年生52名、専修生2名が卒業していきました。仕事が終わった後通学するという生活を4年間続けて成し遂げた卒業は、自信となって卒業生の顔に表れていました。皆さんも、今年度1年間が終了し、卒業に向けて1歩成長したことと思います。

卒業式の式辞の中で、卒業生に伝えた話を皆さんにもしたいと思います。「世界的に著名な経営者である稲盛和夫氏は、『どのような人生を送ったかという人生の結果は、能力と熱意と考え方のかけ算である。しかもその中で最も重要なのは、考え方である』と仰っています。それは、能力や熱意は大きさを表わしますが、考え方は向きを表わすからです。いくら能力や熱意が大きくとも、考え方がマイナスの向きならば、かけ算の答えとしての人生の結果は、マイナスになってしまいます。したがって、物事を建設的に考えるプラス思考で行動することが、充実した人生の結果を迎えるうえで重要だということです。」ということをお話しました。

この「建設的な考え方」の元になるものは、知識であり情報です。何に基づいて考えるかによって、結果は正反対になってしまいます。集会のたびに伝えていましたが、情報が正しいかどうかを見極めないといけません。以前から伝えているように、情報源を確かめてください。それからもう一つ、「情報を事実と意見に分けて理解する」ようにしましょう。事実の一つでも、その事実に対する意見(=捉え方)は何通りもあります。その意見ごとに正義があり、正しいと思って行動しています。ですから、情報を受け取る時に、事実かどうか情報源を確かめ、その事実をどういう意見をもって伝えているのかを考えてください。

皆さんは、そのために必要な知識や考え方を、学校でこの1年間学んできたはずで、4月になれば、卒業までそれぞれ、あと1年、2年、3年となります。授業で知識をしっかりと吸収したり、考えたりして、自分の判断の基準をつくっていきましょう。来年度も充実した学校生活を送ってくれることを期待して、終業式の話が終わります。